

令和7年度版 概要版

流山市まちづくり報告書

(流山市総合計画進捗状況報告)

目次

I	本報告書の考え方について	1
(1)	流山市総合計画について	1
(2)	総合計画の進行管理	2
(3)	まちづくり報告書とは	2
II	施策体系	3
III	まちの経営動向	5
(1)	基本政策全体の達成動向	5
(2)	まちの状態指標	6



I 本報告書の考え方について

(1) 流山市総合計画について

流山市総合計画（以下「総合計画」といいます。）は、本市が目指すまちのイメージである「都心から一番近い森のまち」に向けて、計画的に市政経営を進めていくための指針として、令和2年3月に策定しました。

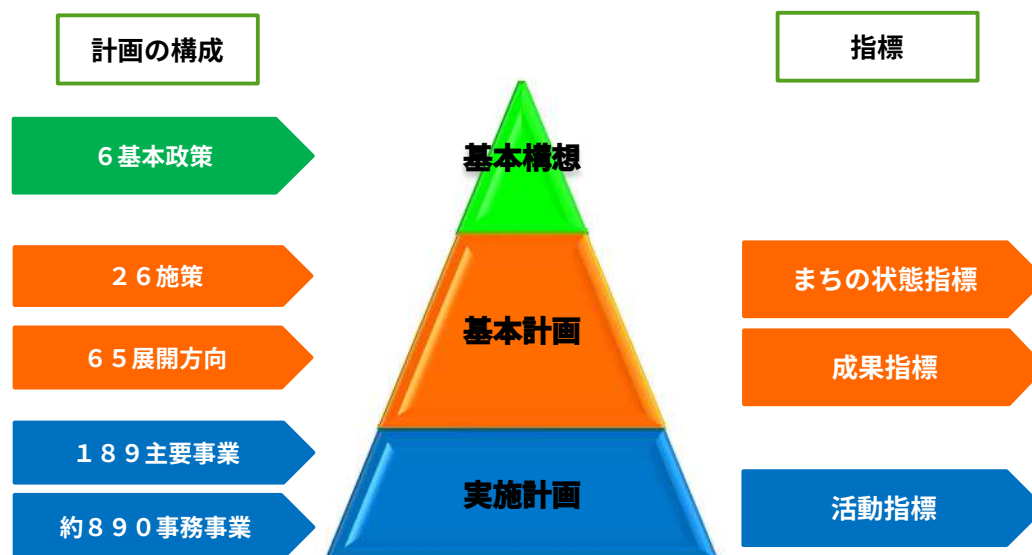
この総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成され、基本計画では、10年間の市政経営の方向性を定めています。

■総合計画の計画期間

令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度	令和13 (2031) 年度
基本構想										※ 基本計画の見直しの際、 基本構想も見直しを検討します。	
基本計画（10年間）											
				見直し						※ 計画期間は3年間とし、 毎年見直しを行っていきます。	
					実施計画（3年間）						
						見直し					

基本計画においては、26の施策と65の展開方向からなり、施策ごとに「まちの状態指標」を設定し、施策の進み具合について、定期的にその数値を測定することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを検証しています。

■計画の構成と指標の関係



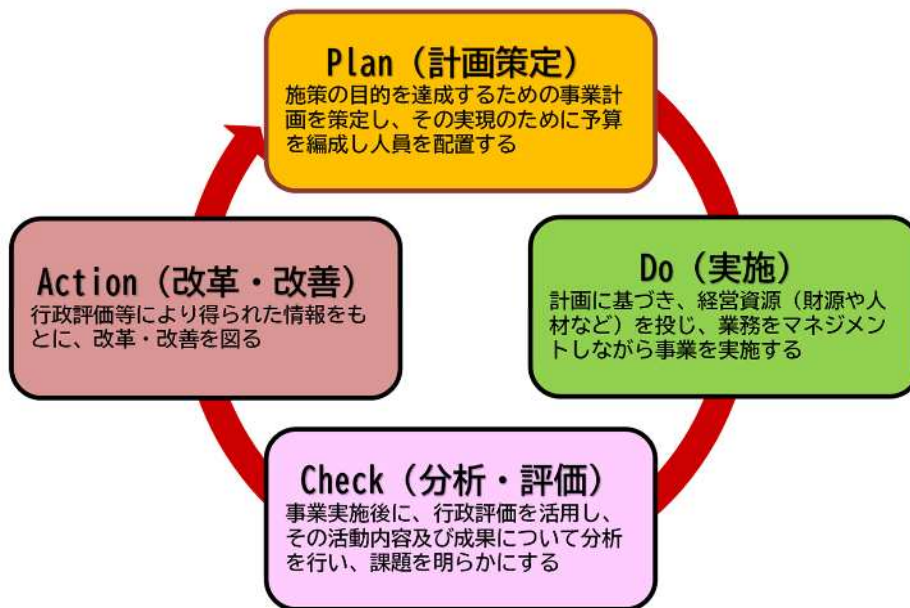
基本政策…目指すまちのイメージ実現のための政策と方針
 施策…基本政策実現のために取り組むべき行政分野
 展開方向…施策の課題解決に向けた取り組みの方向性
 事務事業…施策の取り組みを実現するための具体的手段

「II 施策体系」(P3)を参照

(2) 総合計画の進行管理

基本計画に掲げる施策や、実施計画に掲げる事業の推進を図るため、その進捗状況を管理し、社会経済情勢の変化や国の制度改正などの状況変化に応じて、事業内容などを毎年度見直すことが必要となります。

そのため、成果を見極めるための成果指標などを設定し、「Plan（計画策定）—Do（実施）—Check（分析・評価）—Action（改革・改善）」といった、PDCAサイクルの手法を取り入れた進行管理を行い、施策や事業の成果を定期的に測定し、改善・効率化を図ります。



流山市総合計画実施計画より「計画の進行管理のイメージ」

(3) まちづくり報告書とは

本報告書は、総合計画の目指すまちのイメージの実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和6年度の決算見込みを踏まえて、総合計画の進捗状況の報告書として作成しています。

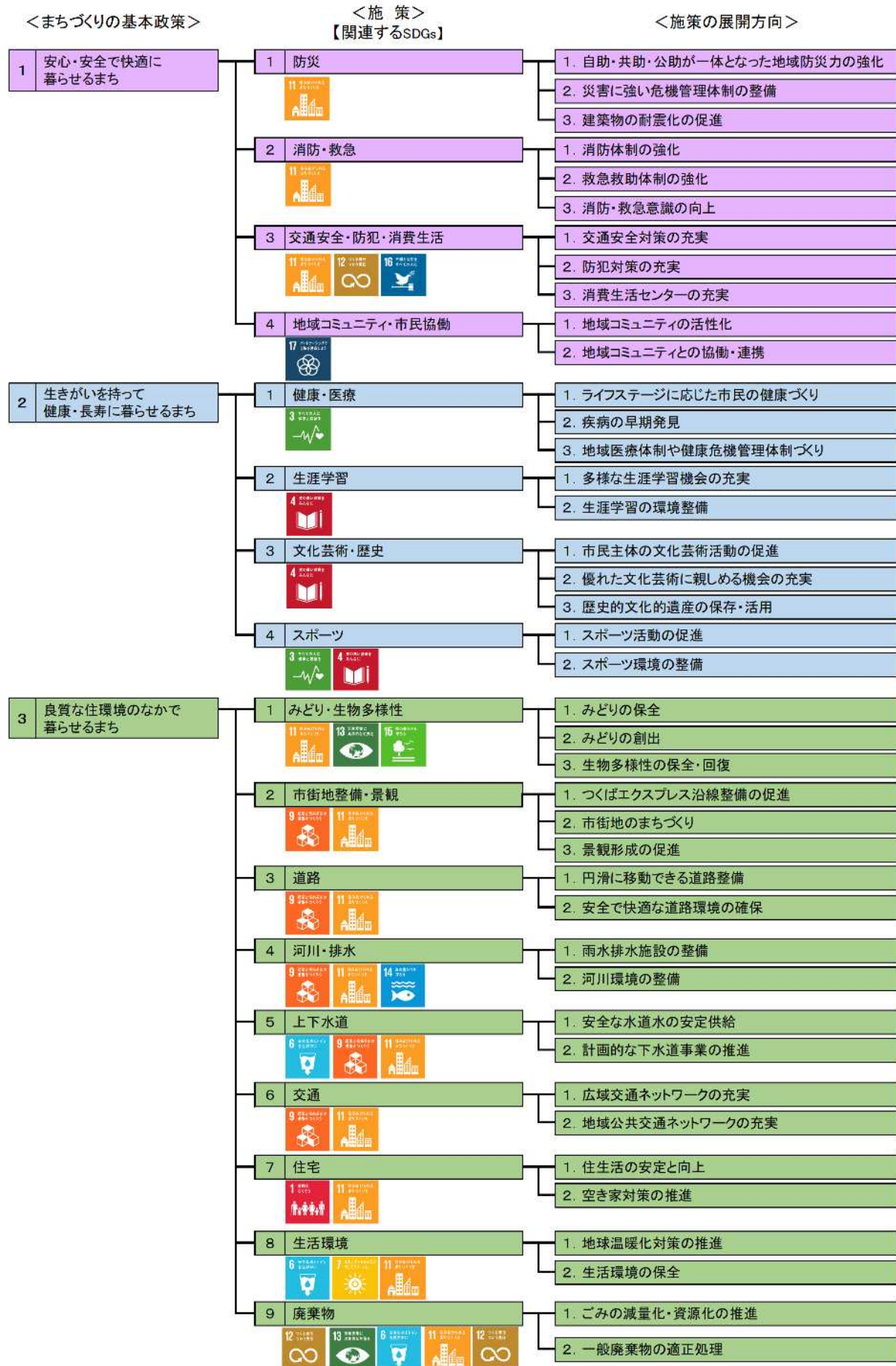
本市の行政評価は、施策や主要事業における成果指標の推移を踏まえたまちの状態指標の状況などを「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況を明らかにしています。

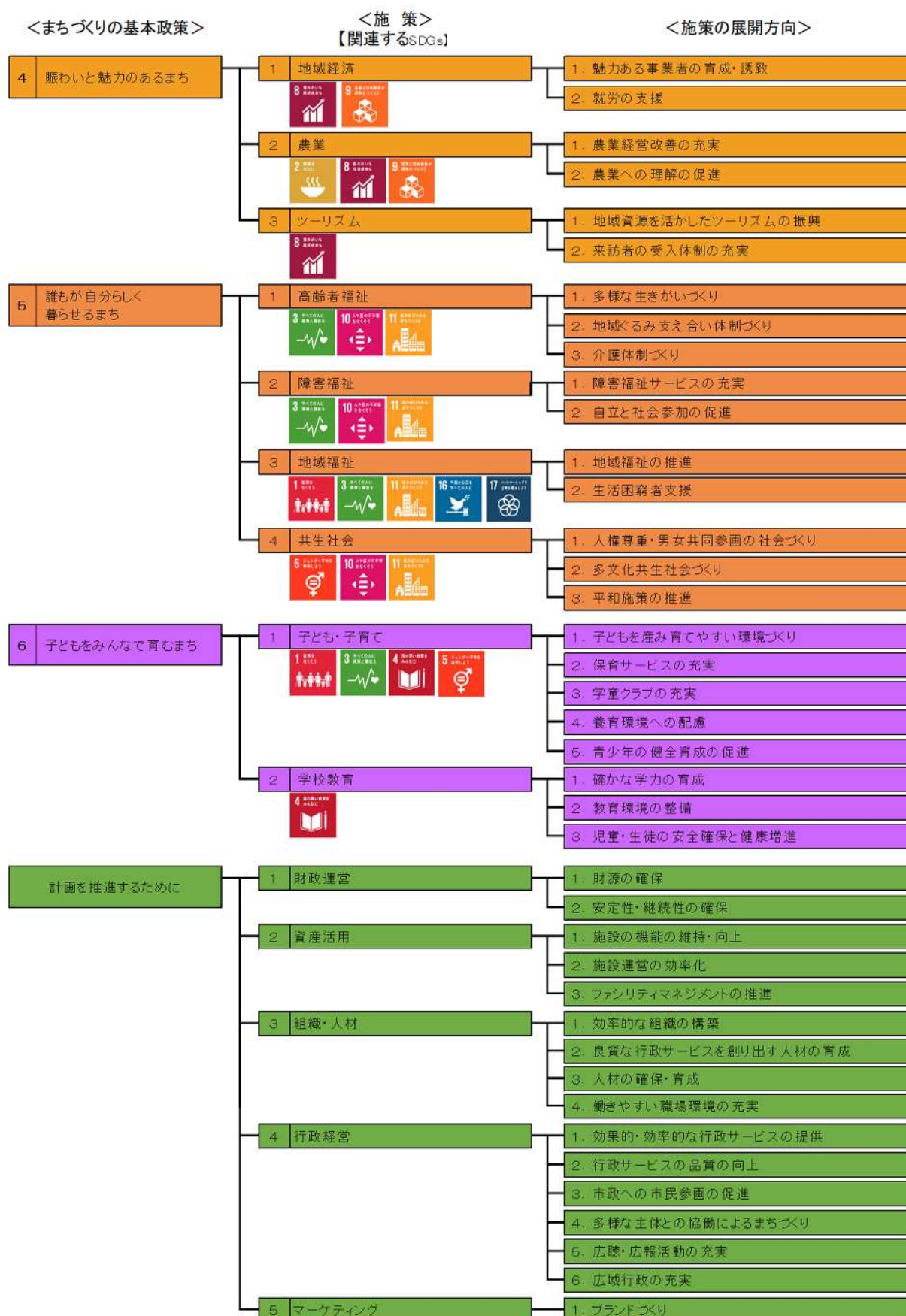
そうした行政評価を分析し、総合計画実施計画による中長期的な事業計画の見直しにより、総合計画の目標達成に向けた施策の推進と成果の向上を図ります。

また、経年変化を確認することにより、社会経済情勢の変化によるものかを見る目安となり、限られた経営資源の「選択と集中」及び事業活動の「改革と改善」への活用が期待できます。

「令和7年度版まちづくり報告書」については、令和2年度から計画期間がスタートした総合計画の進行管理の中で、令和6年度の実績に基づく分析・評価を総合計画の施策体系に紐づけて作成しています。

II 施策体系





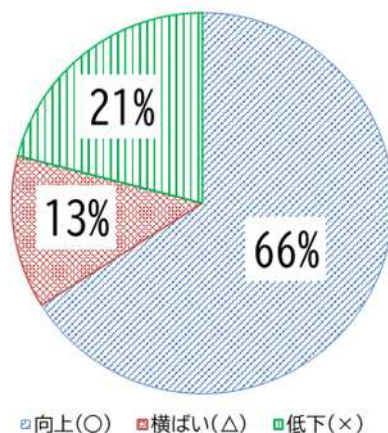
III まちの経営動向

(1) 基本政策全体の達成動向

総合計画に基づく6つの基本政策の達成度について、26の施策の達成状況の指標となる60の「まちの状態指標」の実績値の推移を基に評価を行っています。総合計画策定時と令和6年度を比較し、目指す方向への達成状況を「向上(○)」「横ばい(△)」「低下(×)」の3段階で区分し、比較できない場合や、目指す方向を示さない場合などは「その他(-)」と表記しています。

全政策では「向上(○)」が全体の66%となっており、総合計画は概ね目標に向けて進んでいるといえます。

全政策の達成状況の割合
※「その他(-)」を除く。



各政策の達成状況については下表のとおりとなっています。

「安心・安全で快適に暮らせるまち」では、防災設備や防犯灯などの整備といった安心・安全に関する事業を推進しました。「生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち」では、災害時の医療救護体制の整備や文化施設の改修など生涯学習環境の整備といった健康や生きがいづくりに取り組みました。「良質な住環境のなかで暮らせるまち」では、自転車通行空間の整備や公園等の整備によるみどりの保全や創出といった良質な住環境の整備を図りました。これらの政策では、指標の向上している割合が多く、各事業の成果が表れているものと考えます。

一方で、指標の向上している割合が少ない政策では、新型コロナウイルス感染症等の社会情勢の変化により達成状況が低下している指標もありますが、「賑わいと魅力のあるまち」では、物価高騰対策への支援や地域資源を生かした地域活性化、「誰もが自分らしく暮らせるまち」では、相談支援体制や地域福祉関係者間連携の強化、「子どもをみんなで育むまち」では、妊産婦や学校現場での児童生徒とその保護者の支援を推進し、達成状況の回復が見られた指標もありました。引き続き、各基本政策の達成状況の向上を目指して各事業を推進します。

各施策の達成状況

() 内は前年度の達成状況

基 本 政 策	向上 (○)	横ばい (△)	低下 (×)	その他 (-)	計
安心・安全で快適に暮らせるまち	4 (3)	2 (1)	1 (3)	2 (2)	9
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	6 (5)	2 (0)	1 (4)	0 (0)	9
良質な住環境のなかで暮らせるまち	17 (16)	2 (3)	1 (1)	0 (0)	20
賑わいと魅力のあるまち	3 (3)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	6
誰もが自分らしく暮らせるまち	2 (1)	1 (3)	3 (2)	4 (4)	10
子どもをみんなで育むまち	2 (2)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	6
計	34 (30)	7 (7)	11 (15)	8 (8)	60
全体に占める割合 (%)	66 (58)	13 (13)	21 (29)		100

※ 令和7年度版流山市まちづくり報告書より「横ばい(△)」を基本計画策定時値より±2.5%以内として区分しています。

(2) まちの状態指標

目指す方向への達成状況 ○…向上 △…横ばい ×…低下 —…その他

※ 基本計画策定時点値より±2.5%以内の場合に「△…横ばい」としています。

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和6年度実績	達成状況
1-1 防災	自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える	地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	%	↑	52.5 (2018年度)	51.8	△
		自主防災組織の組織率	%	↑	61.7 (2018年10月1日)	62.2	△
1-2 消防・救急	火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る	人口1万人当たりの出火件数	件	↓	1.4 (2018年)	1.2	○
		救急出動件数	件	-	8,289 (2018年)	10,831	-
1-3 交通安全・ 防犯・消費生活	交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る	人口1万人当たりの交通事故発生件数	件	↓	27.3 (2018年)	17.3	○
		人口1万人当たりの犯罪発生件数	件	↓	61.2 (2018年)	40.7	○
		消費生活相談件数	件	-	2,009 (2018年度)	1,827	-
1-4 地域コミュニティ・ 市民協働	地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む	自治会への加入率	%	↑	66.2 (2018年10月1日)	58.9	×
		市民活動団体の数	団体	↑	203 (2019年4月1日)	275	○

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和6年度実績	達成状況
2-1 健康・医療	生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる	健康寿命（平均自立期間） ※2020（R2）年	年	↑	65歳男性：18.55 65歳女性：20.46 (2015年)	18.71 21.18	○
		生活習慣病による死者数の割合 ※千葉県衛生統計年報2022（R4）年	%	↓	56.3 (2017年)	51.2	○
		一般診療所の数 ※千葉県衛生統計年報2022（R4）年	—	↑	95 (2017年)	128	○
2-2 生涯学習	市民一人ひとりが生涯学習活動を通して人生を豊かにできる	日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	%	↑	46.1 (2018年度)	38.7	×
		学びたい時に学べる環境（生涯学習のプログラムや施設）が整っていると思う市民の割合	%	↑	31.8 (2018年度)	61.5	○
2-3 文化芸術・歴史	文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える	過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	%	↑	53.5 (2018年度)	57.1	○
		市内の指定文化財等の数	件	↑	50 (2019年4月1日)	52	○
2-4 スポーツ	スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る	スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	%	↑	35.4 (2018年度)	34.9	△
		スポーツ施設の利用者数	人	↑	1,610,133 (2018年度)	1,586,121	△

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画 策定時点値	令和6年度 実績	達成状況
3-1 みどり・生物多様性	市民に潤いと安らぎを 与えるみどりの保全・創出に 取り組む	人口1人当たりの都市公園面積	m ²	↑	5.17 (2019年4月1日)	5.13	△
		市内は緑が豊かで潤いがあり、 緑とのふれあいに満足している と思う市民の割合	%	↑	78.8 (2018年度)	82.7	○
3-2 市街地整備・景観	地域の特性を活かした魅力ある 街並みを創出する	これからも流山市に住み続けたい と思う市民の割合	%	↑	83.0 (2018年度)	90.5	○
		利用している駅及び駅周辺の整備 や利便性に満足している市民の 割合	%	↑	42.5 (2018年度)	71.7	○
		自宅周辺の街並みや景観を誇りに 思う市民の割合	%	↑	58.6 (2018年度)	64.1	○
3-3 道路	安全で円滑に移動できる道路網と 道路環境を整備する	快適に移動できる道路網が整備さ れていると思う市民の割合	%	↑	62.4 (2017年度)	69.9	○
		都市計画道路の整備率	%	↑	70.6 (2018年度末)	73.9	○
3-4 河川・排水	大雨時の洪水氾濫・内水氾濫によ る被害を最小限に抑える	雨水幹線の整備延長	Km	↑	14.8 (2018年度再設定値)	15.5	○
		水害による住家被害の棟数(過去3 年間)	棟	→	0 (2016～2018年度)	0	○
3-5 上下水道	安全な水道水を安定的に供給する とともに、衛生的な下水道サー ビスを提供する	安全で良質な水道水が安定的に 供給されていると思う市民の割 合	%	↑	90.7 (2018年度)	93.7	○
		公共下水道普及率	%	↑	89.3 (2018年度末)	94.3	○
3-6 交通	交通ネットワークの充実と利便性 の向上を図る	公共交通に満足している市民の 割合	%	↑	75.0 (2018年度)	79.7	○
		市内鉄道駅の1日当たりの乗客 数※2022(R4)年度	人	↑	175,574 (2017年度)	184,851	○
		流山ぐりんバスの1日当たりの 利用者数	人	↑	2,499 (2018年度)	2,490	△
3-7 住宅	多様な世代・世帯が安心して住 み続けられる住まいを確保す る	住宅の耐震化率	%	↑	83.6 (2018年1月1日)	93.2	○
		住宅の空き家率※2018(H30)年 度	%	↓	3.2 (2018年10月1日)	2.7	○
3-8 生活環境	地球環境にやさしい、快適な生 活環境をつくる	二酸化炭素排出量の基準年度比 ※2021(R3)年度再算定値	—	↓	民生家庭124 民生業務159 (2017年度再算定値)	96 118	○
		身近な生活環境について不満に 感じている市民の割合	%	↓	26.1 (2018年度)	28.0	×
3-9 廃棄物	ごみの発生量を減らし、資源を 有効に利用する循環型のまち をつくる	1人1日当たりのごみ発生量 ※2022(R4)年度	g	↓	848 (2018年度)	742	○
		資源化率※2022(R4)年度	%	↑	21.8 (2018年度)	28.5	○

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画 策定時点値	令和6年度 実績	達成状況
4-1 地域経済	消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる	小売吸引力指数 ※2021 (R3) 年経済センサス	—	↑	0.765 (2016年)	0.661	×
		1 事業所当たりの製造品出荷額等 ※2021 (R3) 年経済センサス	百万円	↑	532 (2016年)	670	○
		法人市民税 ※2022 (R4) 年	万円	↑	75,479 (2018年度)	72,631	×
4-2 農業	都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る	認定農業者数	経営体	↑	41 (2018年4月1日)	61	○
		農業産出額（推計） ※2021 (R3) ～2022 (R4) 年	千万円	↑	230 (2017年)	85	×
4-3 ツーリズム	地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る	入込客数	人	↑	290,137 (2017年度)	303,709	○

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画 策定時点値	令和6年度 実績	達成状況
5-1 高齢者福祉	高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる	高齢者の人口	人	-	45,411 (2019年4月1日)	47,390	-
		生きがいを感じる高齢者の割合	%	↑	82.8 (2018年度)	80.0	×
		要介護・要支援認定率	%	↓	16.7 (2019年4月1日)	20.2	×
5-2 障害福祉	障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる	障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数 ※R4年4月1日時点	人	-	身体障害者：4,216 知的障害者：1,011 精神障害者：1,332 (2019年4月1日)	4,237 1,290 1,956	-
		障害者就労支援センターの利用者数 ※R4年4月1日時点	人	↑	207 (2019年4月1日)	188	×
		相談支援事業の利用者数 ※R4年4月1日時点	人	↑	2,190 (2019年4月1日)	3,242	○
5-3 地域福祉	自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める	福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合	%	↑	57.3 (2018年度)	61.1	○
		生活保護受給者数	人	-	1,708 (2019年4月1日)	1,905	-
5-4 共生社会	すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	%	↑	85.2 (2020年から新規取得)	84.6	△
		外国人の人口	人	-	2,737 (2019年4月1日)	4,225	-

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和6年度実績	達成状況
6-1 子ども・子育て	すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる	18歳未満の人口	人	-	34,375 (2019年4月1日)	39,947	—
		合計特殊出生率 ※2022（R4）年	—	↑	1.67 (2018年)	1.46	×
		流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	%	↑	51.6 (2018年度)	66.8	○
6-2 学校教育	学びに向かう力と自立する子どもを育む	全国学力・学習調査平均正答率	%	全国平均、 県平均を上回る	小学校：62.6 中学校：66.2 (2018年度)	69.0 (全65.6県65.0) 59.0 (全55.3県54.0)	○
		児童・生徒数 ※R5年5月1日時点	人	-	児童10,863 生徒4,344 (2018年5月1日)	13,909 5,285	—
		いじめの認知件数	件	↓	小学校1,246 中学校503 (2018年度)	4,381 353	×

★指標について

行政評価は、個々の施策や事業の目的が何なのか、その目的を実現するために、どのような手段が妥当であり、成果に結びつくのかを評価し、市の未来につなげることが目的です。

これを可視化するために、指標を定め、その実績値や目標値を記載しています。施策レベルの指標は「まちの状態指標」、事業レベルの指標は、「活動指標」と「成果指標」に分類しており、それぞれ以下のような関係になっています。

活動指標

- 行政などの活動によって提供されたモノやサービスの量を指標にしたもの。
- 例①：流山ぐりーんバスの利用促進啓発活動回数
- 例②：ヘルスアップ教室開催回数

成果指標

- 対象となる住民や地域における状態の変化や出来事を指標にしたもの。
- 例①：流山ぐりーんバスの年間利用者数
- 例②：ヘルスアップ教室参加者数

まちの状態指標

- 市の活動や成果のみならず、社会経済情勢なども含めて現れる影響や状況を指標にしたもの
- 例①：まちづくり達成度アンケートにおける、「市内の公共交通に満足している市民」の割合
- 例②：市民の健康寿命

令和7年度版 概要版 流山市まちづくり報告書

（流山市総合計画進捗状況報告）

企画・編集 流山市役所 企画政策課

住所 流山市平和台1丁目1番地の1

電話 04-7150-6064